

メールマガジン『信州と農政を結ぶメルマガ』3月号をお届けします。
<平成28年3月1日 VOL. 6>

- このメールは、各市町村農政担当窓口様及び登録いただいた皆様に送信しています。
(本メールはBccで送付しています。)

◆.....◆
信州と農政を結ぶメールマガジン
◆.....◆

- <目次>
1 トピックス
2 地方参事官が行く！！
3 TPP関連情報について
4 プチ農業政策
5 地方参事官室からお知らせ

<トピックス>

- ★ 3月を迎え、いよいよ卒業シーズン。
県内ではJAや自治体が中心となって食農教育が盛んに行われ、学校と同様に年間を通した活動や、子供だけでなく親にも学んでもらうなど工夫を凝らした活動を行っています。そしてその多くの現場で講師役を務めているのが農家の方々です。農作物の栽培方法だけでなく、伝統食や伝統文化などを継承する重要な役割を担って頂いています。
農家の方の色々な知恵を学んだ子供達が今年も卒業していきます。卒業おめでとう。

食と農林水産業について知ろう、考えよう（食育の推進）（農林水産省へリンク）
⇒ <http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/index.html>

- ★ 梅の花が咲き、春を感じさせてくれる季節になりました。
美しい梅の花ではなく実の方に関しては、長野県は平成26年産の果樹生産出荷統計調査で結果樹面積(503ha)は全国で4番目、出荷量(1,680t)は5番目となっています。南信にある(有)信州伊那梅苑(6次産業化認定事業者)では、特産のうめを利用し梅ジャムや梅ジュース等の製造販売に取り組んでいます。
六次産業化法に基づく認定事業計画一覧 ⇒
<http://www.maff.go.jp/kanto/press/seisan/syokuhin/pdf/110531-02.pdf>

平成26年産果樹生産出荷統計 ⇒
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001139363>

- ★ 長野でもフードバンクの取組が展開されています。
食品ロスについて話題になっていますが、ある新聞の食品廃棄についての記事で「店が生き残るためロスはあるものと考えている。でもちゃんと数えないようにしているよ、怖くなるから」というものがありました。考えさせられる言葉です。
下記のHPでは食品ロスの現状や発生要因、削減に向けての取組をとりまとめています。
(平成26年12月)
食品ロス削減に向けて ⇒
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/pdf/losgen.pdf
食べもののムダをなくそうプロジェクト（消費者庁へリンク） ⇒
http://www.caa.go.jp/adjustments/index_9.html

<地方参事官が行く！！>

- ★ 3月となりました。日一日と春の気配を感じられるようになってと思います。

さて先日、信州蓼科高原グリーンファームを訪問しました。同ファームでは、地域活性化を図るため、稲わら栽培としめ縄の製造販売を行っており、25年度の6次産業化認定事業者です。しめ縄ということでしたので、多忙な時期を避けてこの時期の訪問となりました。

代表者（会長）の宮坂さんは、精密機械メーカーという全く異なる業種からの転向ですが、とてもお元気であり、しめ縄の製造販売が順調な状況を踏まえて、地域振興のための次の戦略（国産甘栗の生産販売）を立てておられました。

我が国は高齢化が進んでおり、長寿トップクラスの長野県でも多種多様な課題があるところですが、まだまだ現役ですと75歳の宮坂さんに叱咤激励され、長生きだけでは面白くない、もっとやれることがあるはずという宮坂さんの言葉がとても印象的でした。

今後も信州各地の頑張っておられる事業者の訪問を続けたいと思います。

長野支局地方参事官 松井 宏聡

<TPP関連情報>

- ★ 農政新時代キャラバンQ & A及び農林水産分野における品目別TPP対策パンフレットを掲載しました。（平成28年2月16日）

【内容は、こちらから ⇒

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/tpp/index.html#caravan>】

- ★ 農業者・消費者・行政関係者の皆さまからの、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを受け付ける『地方参事官ホットライン』を掲載しました。（平成28年2月16日）

【ホットラインは、こちらから ⇒

電話番号 026-233-2500

Eメール <https://www.contact.maff.go.jp/kanto/form/1553.html>

<プチ政策情報> お知らせします農業政策（公表含む）

- ★ 平成28年1月の大雪等に伴う農業被害への支援対策について（平成28年2月23日）
被災農家が今後も意欲を持って営農を継続していけるように、野菜、果樹等への並びに施設園芸への支援の対策を実施します。

【内容は、こちらから ⇒

http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsyo/saigai/160223_1.html】

- ★ 補助事業参加者の公募について（平成28年2月25日）

○平成28年度産地活性化総合対策事業のうち「国産原材料供給力強化支援事業」

【内容は、こちらから ⇒

http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/160222_9.html】

○平成28年度新しい野菜産地づくり支援事業のうち、「青果物流通システム高度化事業」

【内容は、こちらから ⇒

<http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/160218.html>】

※ 上記の2件についての公募締切りは、**平成28年3月8日（火）17時です。**

○平成28年度農業労働力最適活用支援総合対策事業（平成28年2月22日）

1. 農業労働力最適活用支援事業（地区推進事業）
【内容は、こちらから ⇒
http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/160222_4.html
2. 農業労働力最適活用支援事業（全国推進事業）
【内容は、こちらから ⇒
http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/160222_3.html
3. 援農隊マッチング支援事業（地区推進事業）
【内容は、こちらから ⇒
http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/160222_2.html
4. 援農隊マッチング支援事業（全国推進事業）
【内容は、こちらから ⇒
http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/160222_1.html

※ 上記の4件についての公募締切りは、平成28年3月11日（金）17時です。

- ★ 最近の家畜衛生をめぐる情勢について「平成28年2月版」が掲載されました
【内容は、こちらから ⇒
http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/pdf/1602_meguru_all.pdf
- ★ 平成27年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量について（平成28年2月16日）
【内容は、こちらから ⇒
http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y8 】
- ★ 平成25年産特産果樹生産動態等調査について（平成28年2月2日）
主な品目の品種別面積、用途別、りんごのわい性台の普及等が掲載されています。
※本調査は、農林水産省統計部の調査、上記の「平成27年産日本なし、ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量」等の当該調査と手法などが異なります。
【内容は、こちらから ⇒
http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokusan_kazyu/index.html 】

<地方参事官室からお知らせ>

- ★ 現在、長野支局では農業施策に対するご意見・ご要望等を募集しています。
些細なことでもかまいません。
メールによるご意見・ご要望はこちらから ⇒
<https://www.contact.maff.go.jp/kanto/form/c4c1.html>
- ★ 「農政新時代キャラバン」各種説明会・研修会への職員派遣について
ＴＰＰ関連、予算関係などご要望に基づき、説明させていただきます。
どんどん現場に職員派遣しますので、ご相談下さい。

関東農政局 ホームページをご活用ください。
<http://www.maff.go.jp/kanto/>

◆ 「信州と農政を結ぶ」へのご意見、ご要望などございましたら、お手数ですが
こちらのメールアドレスまでご連絡ください。
⇒ nagano_shikyoku@kanto.maff.go.jp

◆◇（発行）◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

関東農政局 長野支局 地方参事官室
TEL 026-233-2500

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇